



こまくさ

平成29年
9月6日(水)
No.21

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

9月に入り、子どもたちはフェスタの練習に一生懸命取り組んでいます。衣装等でご家庭にご協力をいただくこともありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、ねんりんピックについて、保護者の皆様はご存じでしょうか。国民文化祭ほどの知名度はないように感じられますが、秋田県にとっては大切なイベントです。各市町村でも、それぞれ工夫を凝らして各県の選手を迎えようとしています。仙北市では、小中学校でポスターやプレゼントを作成して迎えることにしています。出来上がったポスターの写真を下に載せます。5年生と6年生、頑張りました。

今回は、ねんりんピックへの協力紹介、校歌について、そしてミニバスケットボールの活躍紹介です。



生保内小学校の担当は、静岡市、佐賀県、岩手県、富山県です。それぞれ、6梅（上段左）、6桃（上段中）、5梅（上段右）、5桃（下段）が担当しました。プレゼントは、右下の写真のようなキーホルダーです。中学生が作ったしおりと一緒にラッピングして渡します。10日から始まるねんりんピック、少しでも秋田県、仙北役にたっているで、自己有用感まることと思ひ



市のことも高ます。

生保内小学校校歌

「藤原相之助^{あいのすけ}」って知っていますか？という質問を休み明け集会で子どもたちにしました。結果は0名でした。予想はしていましたが、取り上げて良かったと思いました。

保護者の皆様はご存じですか。藤原相之助氏は、生保内小学校の校歌の作詞者です。教育委員長の安部哲男先生が行っている歴史再発見塾（今年で2年目）で、今年は「藤原相之助」を取り上げて勉強会を行いました。子どもたちにも自校の校歌をつくった人の名前ぐらいは知っておいてほしいと思って紹介しました。

氏は、1867年（慶応3年）、生保内村相内端刑部屋敷に生まれています。慶応3年というと、夏目漱石や正岡子規が生まれた年で、坂本龍馬が暗殺された年でもあります。もちろん生まれたばかりで江戸時代の終わりで明治が始まったなどというのはわからないと思いますが、激動の時代に誕生した方で、時代の気概は受け継いでいると思います。成人して河北新報の新聞記者として力を発揮して、主筆までのぼりつめました。著書もたくさんあります。

どのような経緯で校歌を作詞したのか、作成した年代等ははっきりしませんが、氏の亡くなった年などから、第2次大戦前後ではないかと考えられます。学校日誌によると、昭和16年の4月に生保内小学校を訪れています。用件は記載されておらず、詳細はわかりません。私が調べた限りでは、校内の資料で「藤原相之助」という記載があったのはそれだけです。

校歌としては珍しく、「生保内小学校」という校名は一度も出てきません。それよりも、駒ヶ岳や田沢湖の美しさ、凜々しさをうたっています。相内端方面から見た駒ヶ岳は本当に美しくそそり立って見えます。校歌にはふるさとを愛する気持ちがところどころに表れています。晩年は「とこしへの 夢安らかに 眠らん」とふるさとを思って詠んでおり、最後は喉頭癌で亡くなったそうです。氏は、ふるさと生保内を常に心に思い続けた地域が生んだ偉人の一人です。

※歌詞の「うまし町」は、当初「うまし村」だったそうです。田沢湖町になり「町」となったそうです。

イーストウインズ 大活躍

2017葛巻カップに招待されたミニバスチーム16チームの中で、秋田県から参加した生保内イーストウインズは、見事優勝しました。参加した選手は11名と少なかったのですが、1回戦磯鷄と74対20、2回戦木ノ下と55対28、準決勝で久滋と44対36、決勝で松園と47対36と、抜群のチーム力で勝ち上がり、優勝しました。選手にとっては、自信がついたことと思います。

この後も、ぜひ頑張ってください。



《参加したメンバーの皆さん》



《表彰の様子》